

令和4年度在宅医療・介護連携推進事業
入退院時情報共有・連携ルール作業部会実施要項

1 目的

切れ目ない在宅医療と介護連携体制を構築するため、地域ケア推進会議にて、看取り体制の目指す姿を「本人が望む場所で、自分らしく最後まで今を生きる」と設定した。また、令和2年度に実施した「安城市における看取り・多職種連携に関するアンケート調査」の結果より「病院側と在宅側で、入退院時の連携について認識の相違がある」という問題が上がった。入退院時に多職種が情報を適時・適切に共有し、本人・家族の意思決定支援を継続的に行える環境を整える必要がある。

2 作業部会協力者

病院部会、医師会部会、薬剤師部会、訪問看護部会、ケアマネット部会、リハビリネット部会、施設部会代表者

3 開催頻度、時間

令和4年4月以降、概ね月1回程度、1回あたり1～1時間半程度

4 開催期間

概ね1年程度

5 活動内容

入退院時情報共有・連携ルール・エチケット集作成、専門職への周知啓発

6 事務局

高齢福祉課地域支援係、在宅医療サポートセンター